

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10076

駐車場整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	1	中心市街地の魅力向上
施策	1	中心市街地の魅力向上
取組方針	1	都市機能の充実とまちなか居住の促進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	都市計画総務費		
	大事業	駐車場整備事業		
	中事業	駐車場整備事業		

事業種別	継続			関連個別計画		
事業年度	H29	～	無し	担当課・担当課長・Tel	まちなみ景観課	山本 昇 435-1082
事業実施の根拠法令				関連課	管財課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 今後、建設が予定される市民会館や大学誘致等により予測される、市役所周辺の交通渋滞緩和と駐車場利用者の増加に対応する。		全体事業概要 (仮称)和歌山市営北駐車場の整備を行い、市役所周辺の違法駐車や交通渋滞の緩和を図る。			
	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		(仮称)市営北駐車場の整備事業 解体及び新築の設計委託業務の発注を行った。	(仮称)市営北駐車場の整備事業 (旧)行政評価事務所跡地を買収し、設計業務と既存施設の解体を完了した。 条例の一部改正を行い、90分無料の料金体系を導入した。	(仮称)市営北駐車場の整備事業 埋蔵文化財発掘調査及び建設工事の着手を行う。	(仮称)市営北駐車場の整備事業 建設工事を完了し、共用開始に向け準備を行う。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	536	150,270	59,345	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10,971.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	1,998	1,998	5,275	0	5,275
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	1,998	1,998	5,275	0	5,275
国庫支出金	0	0	0	0	0	19,100	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	97,900	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	23,000	59,000	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	536	10,270	345	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.66	0.00	0.66
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	不動産鑑定手数料536千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
(仮称)市営北駐車場の整備に係る計画・発注 (設計委託、用地買収、解体工事、埋蔵文化財発掘調査、建設工事)	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成度(%)	%	100%	100%	%	%
(仮称)市営北駐車場の整備に係る進捗状況 (設計委託、用地買収、解体工事、埋蔵文化財発掘調査、建設工事)	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成度(%)	%	100%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	解体・新築の設計業務を完了し、建設予定地である(旧)行政評価事務所跡地を買収。 (旧)市役所来庁者用駐車場及び行政評価事務所跡地を解体し、(仮称)市営北駐車場が建設できる用地を確保した。
見直し・改善内容	(仮称)市営北駐車場の建設にあたり、市役所来庁者用駐車場の閉鎖に伴い、条例改正による90分無料の料金体系を導入し、利用者の利便性の向上に努めている。